

iDig Steelwrist 対応

iDig と Steelwrist の連携により、
生産性向上・省人化・安全性向上の効果 を更に体験いただけます。



従来の engcon、Rototilt に加え、Steelwrist への対応により、
三大主要メーカー全てのチルトローテータに iDig が連動。お客様の選択肢が大幅に広がりました。

チルトローテータ導入の際には、iDig を一緒に導入する事をお勧めします。

▶ 検証時：精度 1cm 以内 ※ローテーション時も変わらず



You Tube 動画より(<https://youtu.be/uzf23qCAymA>)

対応必須事項

【iDig 側】

- ・ C8 のコントロールボックス
- ・ C8 用のコントロールボックス用クレードル
- ・ チルト角度認識用のミニセンサ 2 個
- ・ 取り付け用のセンサープレート及び両面テープ 2 枚
- ・ Ver3.19.6 以降のソフトウェア

【Steelwrist 側】（詳細は販売店にご相談ください）

- ・ MG、MC 用の設備
- ・ ローテーションセンサからの出力ケーブル

————— ご興味のある方は、販売店にご相談ください。 —————

【Q&A】

Q : Steelwrist は全機種に取り付けられますか？

A : ローテーションセンサを搭載した X12 以降（重機で言うと 7 t 以上）のサイズが大きい機種に取付可能です。

X12 より下の機種の場合は、回転情報を出力する為のローテーションセンサがチルトローテータ側に搭載されていないので、回転を反映出来ません。

X12 より下のチルトローテータは、チルトバケットとしてご利用が出来ます。

Q : X12 以降の機種(ローテーションセンサ搭載)ですが、後付け出来ますか？

A : 回転情報を出力して、iDig に接続する為のモジュール（Gateway）が必要になります。

Steelwrist 販売店には iDig に接続したい旨をご相談下さい。

Q : 以前、iDig を購入しました。

今持っている iDig で Steelwrist に対応出来ますか？

A : C8 のコントロールボックス、C8 用のコントロールボックス用クレードルが前提条件となります。

コントロールボックスの裏面にシリアル番号が記載されています。

シリアル番号が C の後 8 ○○○○**C8**○○○○ : 対応可能。

シリアル番号が C の後 4 または 6 ○○○○**C6**○○○○

: 基板交換、**クレードルの購入**で対応可能。

※追加部品も必要になります。